



ホームページ

学校通信第10号

# 鬼中だより

平成27年8月31日（月）

藤岡市立鬼石中学校

発行 佐藤 裕彦

0274-52-2750

## 国際理解の研修は最高でしたよ！

8/6



藤岡地方ユネスコ協会主催の国際理解バスに、本校2年生5名が参加してきました。この研修会は、開発途上国の現状と課題や国利協力に関する理解を深めると同時に、日本に研修に来ている外国の研修生と交流することになり、国際感覚を豊かにすることをねらいとしています。

この日は、つくば市の JICA 筑波を訪問して、青年海外協力隊員の体験談、世界の国々の経済・食糧事情等を体感する体験、民族衣装体験、さらに外国の研修生と昼食をともにしながら交流を深める体験等、様々な研修をしてきました。

子どもたちは、開発途上国も自分たちの生活と密接に関わっている国々であり、自分たちと対等の関係であること、相手を知ることが大切であること等を学びました。学習後には、自分たちの恵まれた生活に感謝したいとの声も聞こえてきました。

さらに、今回の研修会は市内5校の生徒代表だけで一緒に活動できる唯一の機会ですので、バス内の交流時間も設けられています。今年は、本校が当番校となり、引率の山田教諭と子どもたちが心を込めて準備してきました。もちろん、当日の進行も上手にでき、良い交流となりました。主催者側からは「これほど素晴らしい交流会の内容と進行はかつてありませんでした！」と賞賛の声が上がったほどです。



私が国際理解バス研修会で一番驚いたことは、日本も昔は貧困で、アフリカの国々に助けてもらっていたということです。私は、日本は昔から豊かな国かと思っていました。だから、アフリカの国々に助けてもらっていたなんて考えもしませんでした。そこで、アフリカの国々に恩返しをしたいと思うようになりました。

## 第7回群馬県西部地区吹奏楽コンクール中学校部門Bの部予選金賞受賞 7/26

## 第57回群馬県吹奏楽コンクール中学校部門Bの部銅賞受賞 8/5

23名の吹奏楽部は、西部地区で金賞、県大会で銅賞を獲得しました。

西部地区大会金賞受賞後の1週間は、県大会で最高の演奏を目指そうと気合いが入り、大きく伸びたように感じました。

当日は都合で応援に駆け付けられませんでしたでしたが、最高の演奏だったと引率者が報告してくれました。実力が伯仲している中では勝ち上がりませんでしたでしたが、よく頑張りました。

部活動では、新体制となりますが、8名の3年生が県大会への細い厳しい道を切り開いてくれましたので、後輩たちも目標がはっきり定められ、活動意欲もさらに高まっていくことと思います。



## 伝統文化を受け継ぐ 8/15

私はこの日、浄法寺の盆踊り大会を初めて訪れました。

実家に近い旧鬼石中の校庭で行われていた盆踊りを思い出しながら見ていましたが、大きく異なる点がありました。それは、子どもたちの出番があるという点です。

「八木節音頭」と「よさこいソーラン」が披露され、小学生から中学1年生までの子どもたちが元気に踊る姿はとても素敵でした。

鬼石祭と同様に、伝統文化を受け継ぐのは大変なことだと思いますが、是非残したい光景ですね。



## 歓迎 ALT・Ken先生!

Ken Prokopetz (ケン プロコペッツ)、2学期から勤務します。ALT 8年目になり、4年前は本校に勤務していました。

カナダのリジャイナ市出身です。京都の大学でも学んだ経験があります。

趣味は、スノーボードと天体撮影です。特に天体撮影は天体望遠鏡を2本持つほどの熱の入れようです。

(背景写真は <http://tabippo.net/world-star-night/> を使っています。)

